

## 平成 17 年度 コンクリート委員会 第 1 回常任委員会 議事録

日時：平成 16 年 5 月 9 日（月）14：00～17：10

場所：土木学会 A 会議室

出席者：丸山委員長，石橋，呉，魚本，宇治，岡沢，金津，小島，坂井，堺，佐藤勉（代理：谷村），佐藤良（代理：河合），島，十河（代理：入矢），武若，堤，手塚，富田，二羽，信田，橋本，前川，松岡，宮川（代理：岸），睦好，六郷，渡辺の各委員，横田幹事長，下村・中村・服部・三島の各幹事  
配布資料：

- 1-0 平成 17 年度コンクリート委員会第 1 回常任委員会議事次第
- 1-1 平成 16 年度第 6 回常任委員会議事録（案）
- 1-2-1 コンクリート構造物の環境性能照査指針（案）序
- 1-2-2 コンクリート構造物の環境性能照査指針（案）に対する意見と回答
- 1-3 コンクリートの施工性能評価手法の構築 委託研究願い
- 1-4 複数微細ひび割れ型繊維補強セメント複合材料(HPFRCC)の指針作成について
- 1-5 橋本道路垂井高架橋（仮称）の損傷に関する学術的調査研究 委託研究の申請について
- 1-6 構造物表面のコンクリート品質と耐久性能検証システム研究小委員会（第 3 種委員会応募）
- 1-7 平成 16 年度コンクリート委員会一般会計および特別会計 会計状況（3 月 31 日確定）
- 1-8 平成 17 年度コンクリート委員会一般会計および特別会計 会計状況（4 月 1 日現在）
- 1-9 333 混和材料を使用したコンクリートの物性変化と性能評価研究小委員会 委員名簿
- 1-10 コンクリート委員会平成 17 年度構成（案）
- 1-11 全国大会研究討論会「コンクリート構造物の超長期耐久性評価」
- 1-12 平成 17 年度重点研究課題（研究助成金）の審査結果について（報告）
- 1-13 JSCE-CICHE モンゴルジョイントセミナー実施計画
- 1-14 コンクリート委員会関係講習会開催案内
- 1-15 「原子力発電所屋外重要土木構造物の耐震性能照査指針」の改訂に関する講習会

議事：

### 1．委員長挨拶

丸山委員長より、2 期目の活動に対し、コンクリート委員会として社会貢献ならびに国際貢献を一層積極的に行っていききたいとの挨拶が行われた。

### 2．委員自己紹介

各委員より自己紹介行われた。

### 3．前回議事録（案）の確認（平成 16 年度第 6 回常任委員会）

資料 1-1 の平成 16 年度第 6 回常任委員会議事録(案)が三島幹事から説明され、審議事項 2(4)で「性急な指針（案）の発行を目指さず、」を削除すること、報告事項(7)の「日韓台英文論文集」を「英文論文集」に、「いい journal」を「e-journal」に修正すること、で議事録（案）が了承された。なお、堺委員から英文論文集の検討状況として、作成される方向で現在進んでいることが報告された。

#### 4．平成 17 年度コンクリート委員会等開催スケジュールの調整

今年度の開催スケジュールを以下とすることが確認された。

- 第 1 回常任委員会 平成 17 年 5 月 9 日（月）14:00-17:00 土木学会
- 第 2 回常任委員会 平成 17 年 6 月 21 日（火）16:00-19:00 名古屋市内
- 第 1 回コンクリート委員会・第 3 回常任委員会 平成 17 年 9 月 6 日（火）15:00-18:00  
土木学会（終了後に懇親会）
- 第 4 回常任委員会 平成 17 年 11 月 7 日（月）14:00-17:00 土木学会
- 第 5 回常任委員会 平成 17 年 12 月 15 日（木）14:00-17:00 土木学会
- 第 6 回常任委員会 平成 18 年 3 月 10 日（金）14:00-17:00 土木学会

#### 5．審議事項

##### (1) アルカリ骨材反応対策小委員会・報告書（案）の最終審議

アルカリ骨材反応対策小委員会・報告書（案）が回覧され、岸氏（宮川委員代理）より、前回以降からの変更点について、前回常任委員会後に常任委員からの意見はなかった、小委員会内で再度細かな点の見直し修正を行った、副題を「鉄筋破断と新たなる対応」とした、英題目は「state of the art report」としたい、事が説明され、最終案が了承された。また、講習会は、8 月 30 日に大阪で、9 月 21 日に東京で行う予定であることが報告された。

##### (2) コンクリート構造物の環境性能照査指針（案）への意見対応と今後の方針

堺委員から、資料 1-2-1、1-2-2 に基づき、環境便益の重要性、負荷を軽減するシステム構築の必要性、指針（案）の意図を明確にするため序文の修正を行ったことと、指針（案）へ出された意見対応について説明が行われた。

・環境は上位の概念であり、指針とした場合にコンクリート標準示方書全体が制約を受ける可能性が生じるのではないかと。

・具体的に記述できない部分も含まれており、性能照査の指針として適当か考える必要がある。

・環境の問題は、コンクリート構造物の記述に留まらないのではないかと。

・建設分野としての負荷は本来大きくないのではないかと。

・部分的な最適解の組み合わせが、全体として妥当な解を出すかを見極める必要がある。

・環境の指標はコストに近い概念であり、照査システムになじまないのではないかと。

・タイトルを指針（案）とするのか、照査という体系でまとめるのかを今後議論していく必要がある。

等の意見が出された。方向性として重要ではあるが、現在は大きな枠組みの議論が主となっており、より具体的な内容について議論を深める必要があることから、次回にケーススタディの結果を定量的に議論できる資料を用意してもらうこととした。また各委員から、ケーススタディのよい例題があれば堺委員に提案し、必要に応じて部会で検討してもらうこととした。

##### (3) 「コンクリートの性能評価手法の構築」の新規受託について

松岡委員から、資料 1-3 に基づき、コンクリート標準示方書施工編第 5 章の改訂について示方書小

委員会で審議・判断する原案作成の委託申請を6月の理事会に行うことが説明された。コンクリート委員会としては、理事会から委託依頼があった場合は、委託を受けることとした。なお、委託を受けた場合、示方書小委員会の作業スケジュールの関係上、委託実施終了以前に逐次情報交換する必要があることが指摘された。

(4)「複数微細ひび割れ型繊維セメント複合材料の指針作成」の新規受託について

信田委員から、資料1-4に基づき、HPFRCCが広く適用できるよう設計施工指針作成の委託を行う予定であることが説明された。コンクリート委員会としては、理事会から委託依頼があった場合は、委託を受けることとした。

(5)「PRC橋梁の損傷に関する学術的調査研究」の新規受託について

丸山委員長より、資料1-5に基づき、国土交通省近畿地方整備局からの橋本道路垂井高架橋（仮称）の損傷に関する学術的調査研究委託について説明が行われた。理事会では委託申請が承認済みであるが、再度コンクリート委員会として標記委員長を丸山委員長が行うことで承認した。なお、内容的には技術推進機構の事業内容とも考えられるとの意見があり、コンクリート委員会で行うか、技術推進機構で行うかを再確認することとした。

(6)構造物表面のコンクリート品質と耐久性性能検証システム研究小委員会（3種）の設置について

岸氏より、資料1-6に基づき、第3種委員会「構造物表面のコンクリート品質と耐久性性能検証システム研究小委員会（委員長：岸利治）」の設置申請がなされ、特に意見なく333委員会として設置が承認された。なお、委員会英文名について連絡してもらうこととした。

(7)平成16年度決算報告および平成17年度予算について

横田幹事長より、資料1-7および1-8に基づき、コンクリート委員会平成16年度決算および平成17年度暫定予算案の説明が行われた。平成16年度の決算については、余剰金は仕掛品の返却という形になる。平成17年度予算については、委託委員会からの収入が増える予定であることが説明された。支出については、予備費にある程度充て、今後予定される収入とともに、活動状況を鑑みて、各小委員会の予算を変更する予定であること、また示方書小委員会については、部会設置後に部会ごとに予算をたてた後再度予算を決定すること、が説明された。審議の結果、決算・暫定予算ともに承認された。

(8)小委員会委員の追加、交代

丸山委員長より、資料1-9に基づき333小委員会の委員の追加が報告され承認された。

## 6. 報告事項

(1)平成17年度コンクリート委員会・小委員会の構成

横田幹事長から資料1-10に基づき17年度4月現在の各小委員会の構成案が説明され承認された。コンクリート教育研究小委員会は17年度は休止とし、新たに2種委員会として、重点研究課題対応PT（211委員会）とコンクリート教育教材作成小委員会（212委員会）を設置することとなった。

なお、規準関連小委員会については、次回に委員名簿を提示してもらうこととした。また、修正すべき事項があれば幹事団に連絡をしてもらうように要請された。

#### (2)平成17年度全国大会における研究討論会企画

丸山委員長より、資料1-11に基づき、本年度の全国大会研究討論会の内容とその準備状況が報告された。

#### (3)示方書英訳出版報告

武若委員より、施工編の英訳作業状況が報告され、次回の常任委員会に完成版を提出することが報告された。出版は7月中に行うこととした。

#### (4)平成17年度重点研究課題研究助成申請審議結果

横田幹事長より、資料1-12に基づき、平成17年度重点研究課題として、コンクリート委員会から応募した「コンクリート標準示方書のアジア地域への展開戦略に関する研究」が採択されたことが報告された。コンクリート委員会としては2種委員会を設置し、国際関連小委員会と協力して、アジア地域へコンクリート標準示方書が各国の基準の選択肢となるような活動をする予定である。

#### (5)モンゴルセミナーの開催計画

堺委員より、資料1-13に基づき、モンゴルセミナーの実施計画として、JSCEとCICHEのジョイントセミナーをモンゴルのエンジニアに対して行う形式であること、吉田賞選考小委員会より100万円の助成が認められたことが報告された。また、国際関連小委員会として現在ベトナムでのセミナー準備を行っていることが併せて報告された。

#### (6)電子News Letterの発刊

中村幹事から、電子ニューズレターが4月末に無事発刊されたことが報告された。また、堺委員(国際関連小委員会委員長)から、継続的に改善をする必要があるので忌憚ない意見のお願いと、今後の個別のトピックでの協力依頼が行われた。

#### (7)ISO/FDIS 15673の意見照会への対応

横田幹事長から、ISO/FDIS 15673の意見照会への対応について報告された。内容が自国に設計基準等がない場合の建築構造物の簡易設計指針であるので、コンクリート委員会からの意見は出さないが、個別に意見がある場合は、5月17日までに意見を出して欲しいとの依頼が行われた。

#### (8)示方書改訂小委員会の今後の進め方について

魚本委員から、示方書改訂小委員会の進め方について報告がされた。示方書の改訂は、性能照査型の体系で不十分な部分を見直す、従来の使用規定の記述を超えた部分での性能照査の適用の仕方、実務者が使いやすいようなマニュアルの整備、等が主になること、舗装編との調整や土木学会技術者資格の取り入れなども検討する予定であることが報告された。なお、示方書の各編の出版時期についても検討してもらうこととした。また、委員としては実務経験者や示方書調整委員会委員を加える

など新たに検討してもらうこととした。

#### (9)各種講習会の開催案内

資料 1-14 に基づき、「表面保護工法設計施工指針(案)」に関する講習会(東京 4 月 26 日、大阪 5 月 10 日)、「コンクリート標準示方書(性能照査編)による設計計算例」に関する講習会(5 月 20 日)、「電力施設解体コンクリートを用いた再生骨材コンクリートの設計施工指針(案)」に関する講習会(6 月 7 日)、「複数微細ひび割れ型繊維補強モルタルの評価と利用」に関する講習会(7 月 5 日)、「吹付けコンクリート指針(案)」に関する講習会(7 月 8 日) および、資料 1-15 に基づき「原子力発電所屋外重要土木構造物の耐震性能照査指針」の改訂に関する講習会(6 月 2 日) が開催されることが報告された。

#### 7. その他

次回：6 月 2 1 日(火) 16:00～ 名古屋